

駿府城公園の現状について

資料 5

1 施設名

駿府城公園 (広場・中堀)

2 施設の目的

駿府城公園は、本市のセントラルパークとして、昭和32年に和洋折衷の総合公園として整備された。
その後、施設の老朽化や市政100年(旧静岡市)を機に、平成元年に巽櫓の整備し、また、「都市部の公園機能の強化」、「防災機能の確保」、「歴史的遺産の保存・再整備」を目的として平成3年度に「整備計画」を策定した。この「整備計画」に基づき、平成8年に東御門、平成13年に紅葉山庭園、平成26年に坤櫓を整備している。

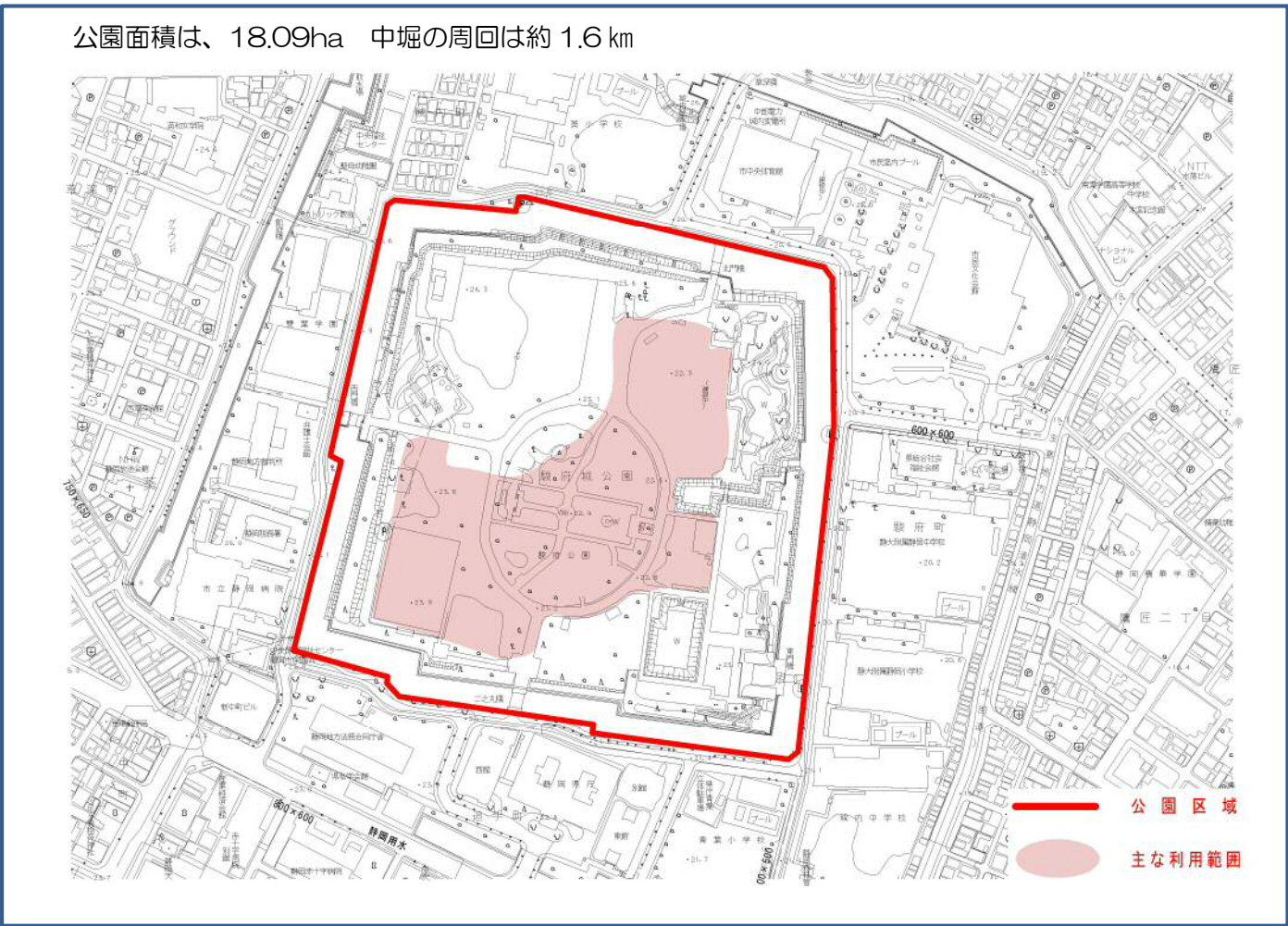
3 設置年度

昭和23年3月1日

4 施設運営形態

直営

5 施設面積・形状(写真や図面)



6 年間利用者数

(単位：千人)

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
人数	—	—	—	1,698	—

7 コスト

(単位：千円)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
歳入	2,786	1,564	1,256	2,359	2,064
歳出	36,945	52,965	47,760	46,639	40,912

8 主な利用実績(活用方法)

総合公園として広く市民に自由利用されている他、施設損傷の恐れがある行為や危険な行為を除き、撮影、飲食、物販等の営業行為についても申請をしたうえで有償にて許可を行っている。
また、市内で開催されるイベントのメイン会場としても利用されており、主な利用状況と件数は下記のとおりである。

- 大道芸ワールドカップ in 静岡 2016 (第25回) 2016.11.3~6 開催予定
市内数ヶ所でパフォーマンスが披露される会場のなかのメイン会場として利用される。
- 第17回 しずおか市町対抗駅伝 2016.12.3 開催予定
県内各市町から参加する選手のスタート地点および待機場所として利用される。
- 第60回静岡まつり
「大御所花見行列」をメインに桜の花咲く頃のお祭りとして開催される静岡まつりの会場として駿府城公園と中心市街地が利用された。
- 静岡マラソン 2016 徳川家康公顕彰四百年記念
42.195km、10km(ファンラン)、3.2km(小学生)の3部門のうちファンランの部と小学生の部のゴール地点とされている。また、選手の待機場所、大会本部が設置された。
- 「桜の名所」づくり事業
「家康公四百年祭」を契機とし、更なる賑わい創出に向けて、駿府城公園及びその周辺を、東海随一の「桜の名所」となるよう、桜の植樹などの整備を進めている。

●直近3ヶ年の公園使用申請件数

年度	許可件数
H25	112
H26	153
H27	132

駿府城公園の現状について

1 施設名

駿府城公園 「東御門・巽櫓」

2 施設の目的

駿府城公園再整備事業の一環として「歴史的遺産の保存・再整備」及び「駿府城公園及び周辺の史跡・旧跡などとの回遊性を図ること」を目的とする施設として設置し、東御門・巽櫓・坤櫓は「歴史的修景ゾーン」に、日本庭園・茶室は「文化的レクリエーションゾーン」として位置づけられている。

3次総に掲げる「歴史文化のまち」を牽引する歴史文化施設の整備推進に当たり、駿府城エリア全体を一体として活用していくため、H28年度に歴史文化課に移管した。

3 設置年度

巽櫓（H元年）、東御門（H8年）

4 施設運営形態

指定管理 駿府城公園観光文化施設管理運営共同事業体による運営（H28年4月～H33年3月）

5 施設面積・形状（写真や図面） 約 3,550㎡

施設の概要

江戸時代（1750年頃）の修理記録をもとに日本古来の伝統工法にのっとり復元された東御門・巽櫓は、巽櫓（下図左側）と多門櫓（同右側）を渡り廊下でつなぎ、要所に石落とし、鉄砲狭間、矢狭間等を備えた戦国時代の城の機能をよく表す造りとなっている。

入館料 大人200円 小人50円 3施設共通券大人360円 小人120円

内部には、駿府城跡から発掘された資料や駿府城の模型が展示され、家康が人質時代に学んだとされる臨濟寺の部屋を復元した「竹千代手習いの間」を観覧できる。



東御門・巽櫓外観



多門櫓 入口



巽櫓2階 竹千代手習いの間



多門櫓 駿府城模型→



鉄砲狭間・石落とし

6 年間利用者数

（単位：人）

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
総入場者数	28,619	30,863	31,352	36,654	67,826
有料入場者数	27,386	29,184	29,890	34,816	47,819
うち小人	6,047	6,106	6,443	6,518	7,783

※無料入場者…市内の70歳以上の高齢者、6歳未満の幼児

※H27年度は天下泰平まつりの開催に合わせ無料入場期間あり（9/18～27）

7 コスト（東御門・巽櫓、坤櫓、日本庭園及び茶室合算）

（単位：千円）

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
歳入	8,919	9,477	9,395	14,133	15,937
歳出	59,300	59,300	59,300	83,580	83,580

8 主な利用実績（活用方法）

1 施設の利用概要・課題等

内部の展示が充実していることから、3施設の中では最も入場者数が多く、学校等の団体利用も多い。平日は予約によりボランティア団体駿府ウエイブによる案内を有料で実施している。（土日祝は無料の定点ガイドを実施。）

今後は、建設予定の歴史文化施設との連携、一体的な活用を目指し、歴史文化施設の分館的役割を担えるよう展示替していくことを検討中。H27年度にはそのさきがけとして、天下泰平まつりに合わせて駿府城の機能や築城にかかわる物語を紹介する展示を行った。また、公園施設としての位置づけから現在は小中学生も有料であるが、学校での利用等は減免できるよう条例改正も検討していきたい。

2 H27年度利用者満足度調査（紅葉山庭園と共通）

（1）集計結果（225人回答）

大変満足 61.96%、ほぼ満足 28.24%、普通 9.02%、やや悪い 0.39%、大変悪い 0.39%

（2）利用者の声（抜粋）

- ・無料の音声ガイドが良かった。
- ・庭がよく整備されていました。素晴らしいです。もっと宣伝してください。
- ・駅からの案内や見所表示、イベントの案内があるとよい。

3 指定管理業務による事業 ※月1回程度開催

H28年度

4月 駿府城公園に戦国甲冑隊参上！（3施設）

6月 あるある探検隊～初夏編～（3施設）

7月 駿府歴史夜話（東御門・巽櫓）、オリジナル団扇の配布（3施設）

8月 寺子屋駿府城 楽しく学ぶ歴史塾（東御門・巽櫓）

（以下、開催予定）

10月 第14回石州流華道展（東御門・巽櫓、紅葉山庭園）

11月 菊と技の饗宴（東御門・巽櫓、紅葉山庭園）

駿府城公園の現状について

1 施設名

駿府城公園 「坤櫓」

2 施設の目的

駿府城公園再整備事業の一環として「歴史的遺産の保存・再整備」及び「駿府城公園及び周辺の史跡・旧跡などとの回遊性を図ること」を目的とする施設として設置し、東御門・巽櫓・坤櫓は「歴史的修景ゾーン」に、日本庭園・茶室は「文化的レクリエーションゾーン」として位置づけられている。
3次総に掲げる「歴史文化のまち」を牽引する歴史文化施設の整備推進に当たり、駿府城エリア全体を一体として活用していくため、H28年度に歴史文化課に移管した。

3 設置年度

坤櫓 (H26年)

4 施設運営形態

指定管理 駿府城公園観光文化施設管理運営共同事業体による運営 (H28年4月～H33年3月)

5 施設面積・形状 (写真や図面) 約410㎡

施設の概要

東御門・巽櫓と同様の修理記録に基づき、安政地震で倒壊して以来160年ぶりに伝統的な木造工法によって復元された。内部では櫓の構造を見通すことができる。
入館料 大人100円 小人50円 3施設共通券大人360円 小人120円
施設概要のビデオ (2種類) が上映されているほか、床面や2階以上がスケルトンになっており、床下の構造や梁、柱の構造を公開している。また、専用ゴーグルをつけて、在りし日の駿府城の眺めや城下の街並みを3D映像で楽しむ体験アトラクション「今昔スコープ」を設置している。体験料は大人子ども共に500円。



坤櫓外観



施設概要のビデオ



梁や屋根 (1階から見上げた様子)



スケルトンの床



今昔スコープ体験中の様子

6 年間利用者数 (単位:人)

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
総入場者数	—	—	—	30,579	34,370
有料入場者数	—	—	—	22,779	17,187
うち小人	—	—	—	3,516	2,483

※無料入場者…市内の70歳以上の高齢者、6歳未満の幼児
※平成27年度は天下泰平まつりの開催に合わせ無料入場期間あり (9/18~27)

7 コスト (東御門・巽櫓、坤櫓、日本庭園及び茶室合算) (単位:千円)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
歳入	8,919	9,477	9,395	14,133	15,937
歳出	59,300	59,300	59,300	83,580	83,580

8 主な利用実績 (活用方法)

1 施設の利用概要・課題等

今昔スコープは同時に2人しか体験できないことなどから利用率は伸び悩んでおり、保守点検等の費用を体験料で回収できていない。また、2階以上には法律上入場できない構造になっているため、展示物が少ない。入場者増につなぐため、H28年度からは3施設共通券の導入や3施設での連携事業 (下記3) を開始した。

巽櫓と同様に歴史文化施設整備に向け分館的役割を担えるよう、歴史文化課から、火縄銃の重さ体験や甲冑の着装等、新たな展示計画を提案中。今後小中学校利用に際しての減免措置や櫓の2階に上がるよう階段を設けること等も検討していく。

<今昔スコープについて>

- (1) 利用状況
 - H26年度 2,116人 (総入場者数の6.9%)、体験料収入 1,058千円
 - H27年度 1,353人 (総入場者数の3.9%)、体験料収入 676千円
- (2) 保守点検費
 - H26年度 561千円 (H26年12月からH27年3月まで)
 - H27年度 2,116千円
- (3) 初期費用
 - MRコンテンツ制作、今昔スコープ運営の基本計画・実施計画作成 93,555千円
 - 機器購入、運営シミュレーションの実施 33,915千円
 - 計 127,470千円

2 施設の新規PR方法

- (1) 3施設のHPを駿府城公園HPに一本化しH28年4月より開設
- (2) 駿府城公園ガイドを作成中 (添付資料)

3 指定管理業務による事業 ※月1回程度開催

- H28年度
 - 4月 駿府城公園に戦国甲冑隊参上! (3施設)
 - 6月 あるある探検隊~初夏編~ (3施設)
 - 7月 オリジナル団扇の配布 (3施設)

駿府城公園の現状について

1 施設名

駿府城公園 「日本庭園（通称 紅葉山庭園）及び茶室」

2 施設の目的

駿府城公園再整備事業の一環として「歴史的遺産の保存・再整備」及び「駿府城公園及び周辺の史跡・旧跡などとの回遊性を図ること」を目的とする施設として設置し、東御門・巽櫓・坤櫓は「歴史的修景ゾーン」に、日本庭園・茶室は「文化的レクリエーションゾーン」として位置づけられている。

3次総に掲げる「歴史文化のまち」を牽引する歴史文化施設の整備推進に当たり、駿府城エリア全体を一体として活用していくため、H28年度に歴史文化課に移管した。

3 設置年度

紅葉山庭園（H13年）

4 施設運営形態

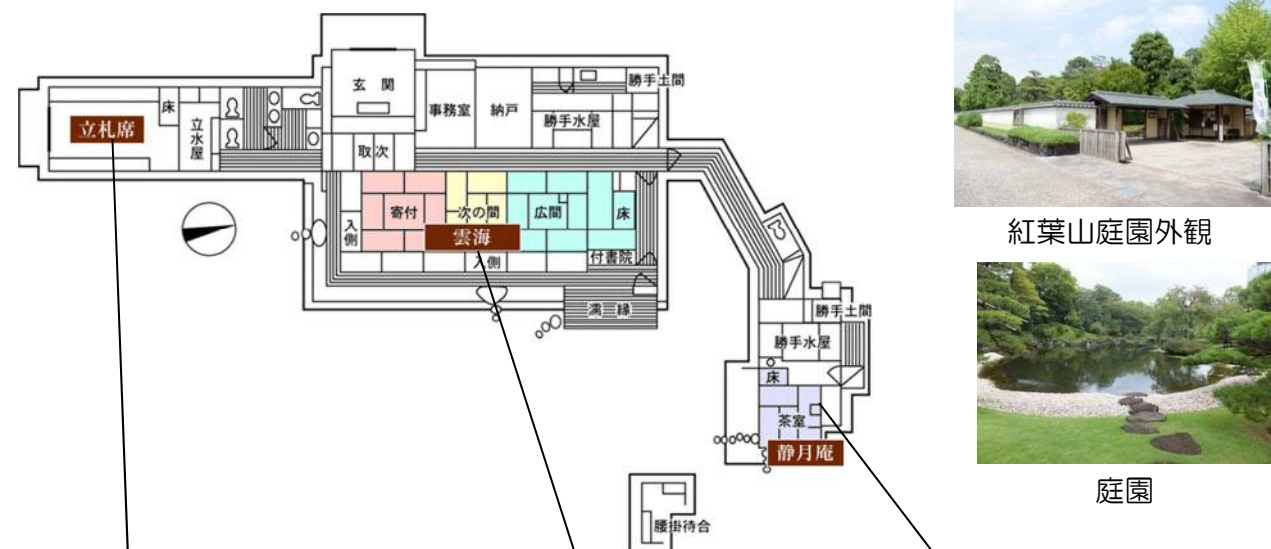
指定管理 駿府城公園観光文化施設管理運営共同事業体による運営（H28年4月～H33年3月）

5 施設面積・形状（写真や図面） 庭園約 5,500㎡ 茶室約 1,900㎡

施設の概要

駿府城の歴史的背景を活かし、大名庭園に見られるような遊びと楽しさを創造した空間。駿河の国の名勝を織り込んだ庭園は四季折々の風景を楽しむことができる。立礼席のほか本格的な茶事も行える茶室も備えている。

入場料 大人 150円 小人 50円 3施設共通券大人 360円 小人 120円



紅葉山庭園外観



庭園



立礼席（有料・無料呈茶有り）



茶室 雲海（和室1～3）



茶室 静月庵

6 年間利用者数

（単位：人）

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
総入場者数	27,330	30,085	27,707	30,284	50,156
有料入場者数	21,873	21,919	21,583	24,084	26,736
うち小人	1,660	1,517	1,361	1,553	1,647

※無料入場者…市内の70歳以上の高齢者、6歳未満の幼児、特別決裁による無料入場者

※平成27年度は天下泰平まつりの開催に合わせ無料入場期間あり（9/18～27）

7 コスト（東御門・巽櫓、坤櫓、日本庭園及び茶室合算）

（単位：千円）

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
歳入	8,919	9,477	9,395	14,133	15,937
歳出	59,300	59,300	59,300	83,580	83,580

8 主な利用実績（活用方法）

1 施設の利用概要

庭園は東御門・巽櫓との共通券で入場する人や、市内の高齢者による利用が多い。一方茶室は、茶道等伝統芸能団体の利用や婚礼写真の撮影での利用が多い。

＜茶室稼働率＞茶室は本格的な茶会等に用いる小間（5畳半）と茶道以外にも利用できる広間（8畳6畳8畳）がある。

（単位：％）

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
雲海（広間）	27.8	31.6	29.6	33.4	38.9
静月庵（小間）	13.0	12.9	10.3	10.6	16.5

今後は、日本庭園の景観を楽しみながら気軽に静岡のお茶が飲める、公園全体の休息的役割をPRするとともに、ケータリングによる料理の提供等の手法を検討していく。

2 指定管理業務による事業

5月 蛸舞う初夏の紅葉山庭園（紅葉山庭園）
※その他東御門・巽櫓との連携事業が主となっている

3 ユニークベニューについて（試行）

法人主催パーティーへの貸し出し H28年5月23日（月）参加者142名
費用1,927千円 ※テナント関係者1人あたり16,334円

紅葉山庭園を公園の利用者拡大と情報発信の拠点施設にすることを目指し、庭園の利用促進の1つの案として、試験的に開催。

